

マリン技術(4単位)

必修

3年海洋科マリン技術コース

授業の概要	(内容) 小型船舶のエンジン及び船体整備に必要な知識と技術、潜水器材整備に必要な知識と技術を学習するとともに、上級潜水技術に関する実技指導を受けて、マスターダイバーを目指します。		到達目標	小型船舶整備については、FRP加工技術を使った船体の補修ができるように、エンジン整備についてはディーゼル機関・ガソリン機関の整備ができるようになります。この加工および整備技術は自動車やバイクにも応用できる技術です。就職や趣味の分野にも役立てることができるようしっかりとした技術を身に付けるようにしましょう。
	(形態) 実技(50%)・講義(50%)			
年間の授業計画	項目		内容	
	一学期	4	小型船舶整備	・エンジンの点検と整備を覚えよう
		5	レギュレーターの点検・整備	・分解と組み立ておよび圧力の調整
		6	レスキュートレーニング	・プールと海での実践的なトレーニング
		7	ダイビング上級技術	・3点脱着、ベイルアウト、水泳検定など
	二学期	9	捜索と回収・ナビゲーション	・器材を使い、海でトレーニングします
		10	大深度潜水	・水深24mを超える潜水を行います
		11	FRP加工技術	・実際の船と模型を使用します
		12	上級潜水訓練(沖縄)	・現地で4日間のトレーニングを行います
	三学期	1	ダイビング時とリーダーシップ	・マスターダイバーに必要な知識を学びます
		2	ダイビングの安全管理	・上級資格取得のための筆記試験対策です
	学習方法	<p>・授業は2時間連続の授業で、艇庫教室・プール・海で行います。</p> <p>・天候や海況により授業の実施場所が変更するかもしれないので、艇庫教室・プール・海のどこでも授業が行えるよう筆記用具、水着等を用意しましょう。</p> <p>・授業はチャイムと同時に始めるので、余裕をもって艇庫教室に集まっておきましょう。</p> <p>なお、プール、海での実技の場合は予め指示に従っておきましょう。</p> <p>・水中では必ず二人一組で行動しましょう。(バディシステム)</p>		
評価方法	ペーパー・実技テスト70%		平常点30%	
	<p>・中間、期末考査での知識の定着度と実技能力を総合的に評価します。</p> <p>・単元の項目を理解できているか。</p> <p>・単元の項目を安全に実施できるか。</p>		<p>・出席状況(遅刻、欠席)</p> <p>・授業の取り組み状況</p> <p>・積極的に授業に参加しているか。</p> <p>・器材の扱い状況等。</p>	
教材	教科書 『自動車工学概論』(実教出版)		アドバイス	「マリン技術」の学習をとおしてエンジン整備ができるようになります。また、上級ダイバーに必要な知識と技術も身に付けましょう。